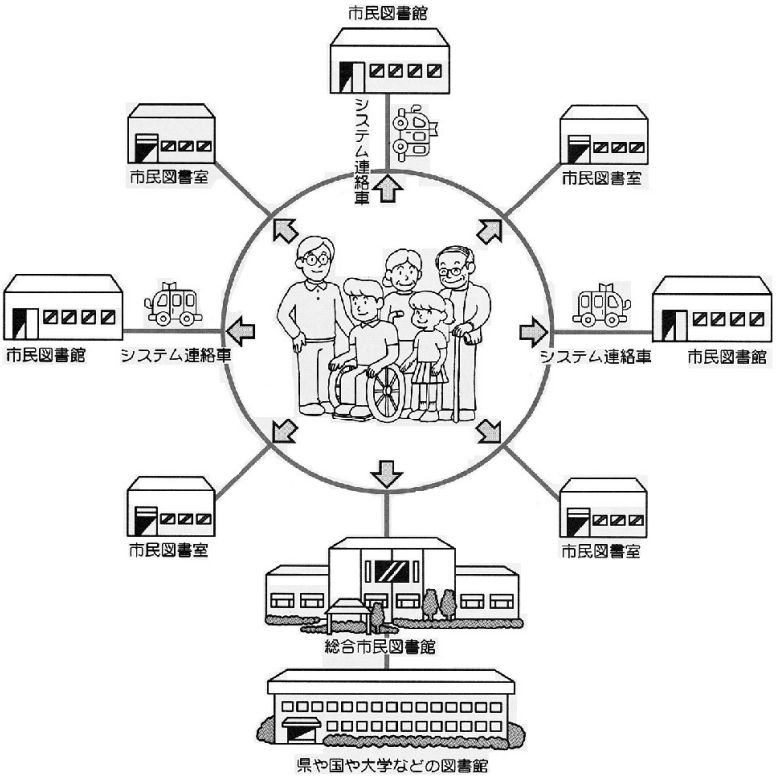
Ⅹ 図書館施設概要

１．図書館システム

総合市民図書館を中心に南市民図書館・辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館及び地域市民図書室（１１室）のそれぞれの機能を生かし、どこでも、必要な本（資料）が手に入るよう、図のようなシステム（図書館サービス）を行なっています。

また、インターネット及び図書館利用者端末機から所蔵の資料を予約したり、自分の貸出・予約の状況を確認したりすることができます。

なお、県立図書館・慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター・日本大学生物資源科学部図書館・湘南工科大学附属図書館・多摩大学湘南キャンパス図書館とのネットワーク・システムを構築し、市民の生涯学習・情報提供の場として広く利用される図書館として活動していきたいと考えています。



★インターネット予約
自宅のパソコンから図書館ホームページで蔵書検索し必要な資料をいつでも予約できます。

２．図書館４館構想

藤沢市には、現在、人口１０万人に１館の割合で市内を４つのブロックにわけ、ブロックごとに藤沢市総合市民図書館・南市民図書館・辻堂市民図書館が建設され、４館目の湘南大庭市民図書館が、２０００年（平成１２年）４月２９日に開館しました。

―各市民図書館のサービスエリアと特徴―

総合市民図書館……全市のサービス網の中心として機能。湘南台・善行・六会・長後地域の分館機能も兼ねている。豊富な蔵書による図書館システムの総合調整、参考資料によるレファレンス機能をもっている。

南市民図書館……藤沢・鵠沼・片瀬・村岡地区をサービスエリアとした分館機能。
エリアに片瀬地区が含まれているところから「海」に関する資料を網羅的に収集し蔵書に特徴を出している。

辻堂市民図書館……辻堂・明治地区をサービスエリアとした分館機能。市民の環境に対する関心が高いところから「環境問題」に関する資料を網羅的に収集し蔵書に特徴を出している。

湘南大庭市民図書館……大庭・石川・遠藤・御所見・茅ヶ崎市堤地区をサービスエリアとした分館機能。緑の保全･野鳥観察が活発なところから「自然保護」に関する資料を網羅的に収集するとともに、藤沢市にかかわりのある人の著作「市民文庫」を積極的に収集して、蔵書に特徴を出している。
また、特別書庫には文化人等の資料群を集めた「特別コレクション」を保存し､閲覧できるようにしている。